



寒さの厳しい日が続き、本格的な冬の到来です。2学期のグループ活動は12月8日（金）で終了し、3学期は1月5日（金）から始まります。様々なプログラム活動や体験活動をとおして、一人一人成長した姿を多く見ることができました。創造活動での子どもたちのようすを紹介させていただきます。

コラム

2023年も残すところ1カ月となりました。今年は、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、これまで感染対策として中止されていた様々なイベントが再開され、久しぶりの光景が多く見られたように思います。創造活動でも、4年ぶりに宿泊体験活動が実施されました。日常の活動では、子どもたちのマスクを外した表情を見る機会が増え、“ああ、こんな風に笑うんだなあ。”“こんな表情をするんだなあ。”と子どもたちの新たな一面を知ることができました。

マスク生活が長期化したことで、コロナ前はあまり意識していなかった相手の表情に自然と目を向ける機会が増えたのではないのでしょうか。また、“黙食”や“ソーシャルディスタンス”が求められた日々の中で、思うように話せない／伝わらないもどかしさから、コミュニケーションをとるのに苦労された方も多いと思います。特に、子どもたちは自由な表現方法を制限され、大人以上に不自由さを感じていたかもしれません。

そのように窮屈だった時を経て、今、子どもたちは、また自分らしくふるまえる自由を取り戻し、嬉しそうに見えます。そして、「大丈夫?」「こうするといいよ!」など、困っている子に声をかけて助け合いながら過ごしている創造活動に通う子どもたちは、生き生きとしています。

コミュニケーションというと、話し言葉ばかりに注目しがちですが、視線や表情、身振り手振りなどを使ったコミュニケーションもあります。創造活動に通う子どもたちのなかには、話し言葉以外の、頷きや視線、首振り、文字、笑顔などでコミュニケーションをとる子もいます。私たちスタッフは、子どもたちが伝えようとしていることを受け取れるように日々心がけています。うまく表現ができず、相手に誤解を与えてしまうこともあります。そういう時は、私たちスタッフが間に入り、話を深められるようにかかわり、気持ちをつないでいます。

様々な人とかかわり、一緒に活動していく経験は、子どもたちの見ている世界を広げ、新たな気づきをもたらしてくれます。私たちスタッフは、その気づきが子どもたちの成長につながると信じています。その成長をお手伝いできるよう、今後も子どもたち一人一人と向き合い、寄り添っていきたいと思っています。



保護者講演会 10月14日(土)

講師：こども心身医療研究所・親と子の診療所
臨床心理士・公認心理師

講演テーマ「不登校の支援を考える

医療機関での経験から」

「心身両面から子どもをみる」ことを大切にして、長年治療や相談を行ってきた加藤先生にご講演いただきました。不登校支援のこれまでの変遷をご説明いただいた後、不登校初期から復帰期までの経過の解説や医学的視点からの分析など、様々な視点から不登校支援について教えていただきました。

館外活動 10月20日(金)

過ごしやすい天候の中、21名の子どもたちが天王寺動物園に行きました。人混みが多い電車や街に驚く子どももいましたが、グループを組み、見たい動物の見学順を話しあって決めるなど、学年を超えての仲間関係ができ、とても楽しそうに見学していました。帰りは人混みの多い道で子どもたち同士が周囲を気遣って声をかけ合っていました。わずかな時間の中にも子どもたちの成長が見られた1日でした。



消防体験 10月6日(金)

9名が参加し、南消防署で消防体験をしました。ホースでの放水体験や、ロープと滑車を使用し消防隊員を引き上げるレスキュー訓練では仲間と力を合わせ頑張る姿が見られました。また、煙が充満したテントの中から訓練用人形を救出する体験では、煙で視野の悪いなか、ペア同士で声を掛け合いながら全員が救出に成功していました。最後に署長から一人一人へ修了証が渡されました。

保護者全体懇談会 青少年交流文化館いぶき 11月4日(土) 10時～12時

前半は、大阪府警察本部少年課少年育成室の齋藤功太郎さんによる「スマホ・安全教室」で、スマホやSNSに関する様々なトラブルや対応について最新の情報を教えていただきました。

後半は、第1回保護者全体懇談会のアンケート結果をもとに作成した「子どもへの声かけ」「学習、進路について」「親の受け止め方」の3つの項目をもとに、グループに分かれて意見交換をし、親としての子どもとの向き合い方、親と子にとっての環境の整え方などが話題になりました。最後に創造活動アドバイザーの伊藤由記子さんからグループトークで出た内容へのアドバイスをいただきました。共感したり気づきがあったりと充実した時間を過ごすことができました。24名の方が参加されました。

宿泊体験活動 in 奈良県曽爾

11月9日(木)～10(金)

小中学生15名が国立曽爾青少年自然の家に4年ぶりの宿泊体験活動に行きました。1日目はハイキングと野外炊飯。ハイキングでは、頂上を目指して頑張り、頂上に到達した時の達成感を味わいました。また太陽の光で銀色に輝くススキの景色に感動しました。野外炊飯では、みんなで協力してちゃんこ鍋を作り、おいしくいただきました。

2日目はプレイホールで軽スポーツを楽しみました。朝からふり続いた雨も帰る時にはやみ、外は雲海の景色が広がっていました。「これまでかわりがなかった子ども仲良くなれたことが嬉しかった」といった感想があり、子どもたちが互いのことを知り合える貴重な活動となりました。



●これからの予定●

- 12月5～7日 グループ活動午前のみ
- 12月8日(金) 2学期終わりの会・グループ活動終了
- 1月5日(金) 3学期始まりの会・活動開始
- 1月12日(金) 体を動かそう(豊島体育館)
- 1月19日(金) 館外活動
- 1月26日(金) 体を動かそう(豊島体育館)
- 1月26日(金) 乗馬体験(乗馬センター)
- 1月27日(土) 第三回保護者全体懇談会 10時～
- 1月31日(水) フラワーアレンジメント(午後)
- 2月9日(金) 体を動かそう(豊島体育館)
- 2月9日(金) 乗馬体験(乗馬センター)
- 3月1日(金) 体を動かそう(豊島体育館)
- 3月7日(木) 茶話会(仮称)
- 3月8日(金) 終了式(仮称) 10時～

